

第14回

# 全国市議会議長会 研究フォーラム

議会活性化のための船中八策

## 主催者挨拶



全国市議会議長会会長・  
大分市議会議長

野尻 哲雄

## プログラム

### ■第1日目 10月30日水

12:00	開場・受付
13:00	開会式
13:20	第1部 基調講演 現代政治のマトリクス —リベラル保守という可能性 中島 岳志 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授
14:20	休憩
14:40	第2部 パネルディスカッション 議会活性化のための船中八策 コーディネーター 坪井ゆづる 朝日新聞論説委員 パネリスト 高部 正男 市町村職員中央研修所学長 横田 韶子 株式会社コラボラボ代表取締役 古川 康造 高松丸亀町商店街振興組合理事長 田鍋 剛 高知市議会議長
16:40	次期開催地挨拶
16:50	次期開催地挨拶終了
18:00	第3部 意見交換会【ザ クラウンパレス新阪急高知】
19:00	意見交換会終了

## 基調講演講師



中島 岳志 なかじま たけし  
東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

1975年大阪生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。学術博士(地域研究)。2005年『中村屋のボース』で、大仏次郎論壇賞、アジア太平洋賞大賞を受賞。北海道大学大学院准教授を経て、現在、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授。著書に『ナショナリズムと宗教』、『秋葉原事件』、『リベラル保守』宣言、『血盟団事件』、『岩波茂雄』、『アジア主義』、『親鸞と日本主義』、『保守と立憲』、『超国家主義』、『自民党』などがある。

## パネルディスカッション



コーディネーター  
坪井 ゆづる つぼい ゆづる  
朝日新聞論説委員

1958年奈良市生まれ。82年、朝日新聞入社。長野、北海道で勤務。90年に政治部員、自民党、社会党、自治省などを担当。エラ編集部、週末版beデスクを経て、2003年から論説委員(政治担当)。編集委員兼論説委員、論説副主幹のうち、12年から東北復興取材センター長・仙台総局長。16年に論説委員に戻る。18年から夕刊一面コラム「素粒子」担当。社外では、京都大学法学院客員教授(08年から10年)、現在は日本記者クラブ企画委員、日本公明学会理事・企画委員長、NPO法人スローライフジャパン理事。



パネリスト  
高部 正男 たかべ まさお  
市町村職員中央研修所学長

1950年山梨県生まれ。東京大学法学部卒。1974年自治区入省。静岡、富山、香川の各県庁に勤務。総務省自治行政局長、選挙部長等として、地方議会制度や選挙制度の企画立案に従事。2013年から3年間、全国都道府県議会議長会事務総長として、地方議会の権能強化や議員年金の問題に取り組む。現在全国市町村共同の中央研修機関である市町村職員中央研修所(通称:市町村アカデミー)の学長として、市町村職員に専門性の高い研修を行い、地域を支える人材の養成に尽力。市町村議会議員や市町村長を対象とする特別セミナーも実施。



パネリスト  
横田 韶子 よこたきょうこ  
株式会社コラボラボ 代表取締役/お茶の水女子大学客員准教授

1976年生まれ。お茶の水女子大学卒業後、1999年株式会社リクルート入社。営業・新規事業および事業企画を経験後、2006年㈱コラボラボ設立。現在、代表取締役。女性社長.net(会員約2500名)、「J300」など女性社長を応援する企画に注力。Forbes Japan「未来を創る日本の女性! フォーブスが選ぶ10人」等選出。男女共同参画重点方針専門調査会、総務省自治体戦略2040構想研究会、第32次地方制度調査会、財務省財政制度等審議会など男女共同参画、行財政改革から地方自治分野まで多数委員を歴任。著「女性社長が日本を救う!」(マガジンハウス発行)



パネリスト  
古川 康造 ふるかわ こうぞう  
高松丸亀町商店街振興組合理事長

1957年香川県高松市丸亀町生まれ。立命館大学経営学部卒業後、高松青年会議所理事長などを経て、現職。少子高齢化社会に対応した新しい形の地方自治組織の創設を目指して、中心市街地再生に日々、精力的に取り組んでいる。内閣官房地域活性化伝道師、内閣府「中心市街地活性化推進委員会」委員、国土交通省UR都市再生機構アドバイザー等、公職多数。平成19年5月には、都市計画に独創的な業績を挙げた個人、団体に贈られる日本都市計画学会最高位の学会賞である石川賞を受賞。



パネリスト  
田鍋 剛 たなべ つよし  
高知市議会議長

1960年高知県高岡郡佐川町生まれ。高知短期大学卒業。高知市職員、高知市労連委員長を経て2007年5月から高知市議会議員を務め、現在4期目。その間、建設常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長、厚生常任委員会委員長、監査委員を歴任。15年5月から16年6月まで副議長を務め、19年5月に第114代高知市議会議長に就任。「議会は政策議論の場であるとともに、議決をするという意味では政策決定の場でもある。首長と並んで執行の一翼を担う機関といえる」を信条に議長として、市民生活第一に、市民目線の議会改革にも積極的に取り組んでいる。

## 課題討議

コーディネーター  
坪井 ゆづる つぼい ゆづる  
朝日新聞論説委員



事例報告者  
滝沢 一成 たきざわ いつせい  
上越市議会議員 議会改革推進会議座長

1956年上越市生まれ。青山学院大学卒。広告代理店を経て、フリーライターとして映像・舞台制作およそ300プロジェクトに携わる。2008年50歳で機に帰郷し市議会議員。現在3期目。2017年3月、市議会における女性や若者のなり手不足を考える「市議をを目指しやすい環境整備検討会」の座長となり、一年後5項目18小項目の環境整備改革案を答申。現在議会運営委員長議会改革推進会議座長として、その改革案等に沿った「女性フォーラム」「議会モニター制度」「中学生による模擬議会」などに取り組んでいる。

事例報告者  
久坂 くにえ くさか くにえ  
鎌倉市議会議長

1973年生まれ。聖心女子大学卒業後、旅行会社での海外営業部等の勤務を経て2004年鎌倉市議会議員選挙初当選。決算特別委員会委員長、観光厚生・教育こどもみらい各常任委員会委員長、監査委員、副議長などを歴任。2019年6月に第65代議長に女性最年少議長として就任。鎌倉市議会初の現職出産議員として現在4期目。政策形成の枠組み作り、放課後の子どもの居場所づくりなどに注力。出産議員ネットワーク、子育て議員連盟所属。2児の母。

事例報告者  
小林 雄二 こばやし ゆうじ  
周南市議会議長

1952年周南市(旧德山市)生まれ。東ソー株式会社勤務時代の1991年に旧德山市の議員として初当選。現在7期目。2014年に会社退職後は議員活動に専念している。議会運営委員会委員長、副議長、議会選出監査委員等を歴任して、2017年6月からは議長。特に議会運営委員会委員長は通常11年、連続9年務めている。周南市議会議長に就任後、2004年5月16日に議員報酬問題に端を発して行われた住民投票により議会解散となつた経験が議員活動、議会改革取り組みのベースとなっている。